

スマートスポーツ(生涯スポーツ分野)

【具体的目標】

- 1 成人の週1回以上のスポーツ実施率を3人に2人（65％程度）に、週3回以上のスポーツ実施率を3人に1人（30％程度）以上にする。
- 2 総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の登録・認証等の制度や中間支援組織を整備する。（**変更**）

I 生活の中の運動・スポーツの実践

- 1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進
- 2 障害者のスポーツ活動を通じた共生社会実現に向けた取組の推進（**充実項目**）
- 3 運動・スポーツに関心を持ちながらも実践できない方への誘い
- 4 日常生活の中に運動・スポーツを位置づけるための示唆や環境整備



障害者のスポーツ活動を通じた共生社会の実現
（全京都車いすハンドボール大会兼全国交流会）

II 地域の活性化に重要な役割を果たす運動・スポーツ

- 1 総合型クラブのスポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造（**充実項目**）
- 2 地域スポーツをコーディネートするスポーツリーダーの育成



総合型クラブ育成支援
（京都ご当地グレルレーマラソン）

III 府民の「する」「みる」「ささえる」気持ちを高めるスポーツイベント

- 1 府民が手軽に参画できる地域スポーツイベントの充実
- 2 京都の地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進（**充実項目**）
- 3 ワールドマスターズゲームズの開催（**充実項目**）



スポーツツーリズムの推進
（ワールドマスターズゲームズ2021 関西）

エンジョイスポーツ(子どもスポーツ分野)

【具体的目標】

- 1 子どもの体力を1985（昭和60）年頃の水準まで近づける。
- 2 「運動・スポーツをすることが好きな子どもの割合」を増加させる。
- 3 「学校の体育の授業以外で週1日以上運動・スポーツをしている子どもの割合」を増加させる。

I 運動・スポーツが好きな工夫

- 1 体を動かすことが好きになる取組の充実
- 2 体を動かすことが好きになる環境づくり



運動・スポーツが好きな取組の推進
（スポーツ・レクリエーション体験）

II 発達段階に応じた運動・スポーツの推進

- 1 体づくりをより効果的に行うための健康教育の充実
- 2 学校や地域での「体力向上推進プロジェクト」の推進
- 3 総合型クラブとの連携による地域での児童生徒の活動環境の整備
- 4 障害のある児童生徒の体育・スポーツ活動の推進
- 5 運動部活動の活性化



学校運動部活動の推進
（全国高等学校駅伝競走大会）

III 子どもたちに意欲を持たせる指導者の育成と支援

- 1 豊かな心を育む指導者の育成
- 2 京都府のスポーツ文化の醸成・伝承
- 3 指導者のネットワークづくり
- 4 退職教員等の優れた指導力を持つ人材の活用



トップアスリートとの交流
（京のスポーツ夢バンク）

IV 東京2020大会を契機とした「スポーツごころ」を醸成する取組の推進（**新規項目**）

- 1 「スポーツごころ」を誘う事業の展開
- 2 共生社会の形成や国際理解教育の推進
- 3 オリンピック・パラリンピック教育によるレガシーの創出

チャレンジスポーツ(競技スポーツ分野)

【具体的目標】

- 1 京都府ゆかりの選手が、オリンピック・パラリンピックや世界選手権をはじめとする国際大会において、毎年メダルを獲得することを目指す。
- 2 国民体育大会において、京都府選手団が男女総合成績常時入賞（8位以内）を果たす。
- 3 公認スポーツ指導者を10年間で1,000名の増員を図るとともに、各団体に登録された全ての指導者が年1回以上資質向上のため研修会を受講する。

I 未来に羽ばたくジュニアアスリートの育成

- 1 ジュニアアスリートの発掘・育成システムの構築（**充実項目**）
- 2 ジュニア期における体づくりのための望ましい食習慣の実践研究及びその普及推進



ジュニアアスリートの発掘・育成
（京の子どもダイヤモンドプロジェクト）

II 京都府を拠点に活躍するトップアスリートの育成

- 1 地域活性化を視点にした地域ならではの競技スポーツの推進
- 2 京都トレーニングセンター等との連携によるスポーツ医・科学サポート体制の充実と活用
- 3 地域・企業・大学等が核となるトップアスリート支援体制の確立
- 4 障害者トップアスリートの競技力向上方策の充実（**充実項目**）



障害者アスリート育成
（パラ・パワーリフティング競技）

III 社会性豊かなアスリートの育成に向けた指導者の育成と指導体制の構築

- 1 優れた指導力を持った指導者の育成・確保
- 2 京都府における競技団体組織体制の充実と国との連携



目指せ！国民体育大会男女総合8位入賞！
（第73回国民体育大会少年男子バレーボール競技）



「夢・未来」スポーツ拠点整備(施設充実分野)

【具体的目標】

- 1 青少年の夢やあこがれとなり、府民が誇れる専用球技場「京都府立京都スタジアム」の整備
- 2 子どもの発達、健全育成をはじめ、冬季スポーツの競技力の向上や愛好者の裾野拡大につながる「京都アイスアリーナ」（仮称）の整備（**変更**）
- 3 子どもから高齢者まで、障害の有無や程度に関係なく、誰もが使いやすく、競技スポーツと生涯スポーツ双方の府民ニーズを踏まえた府立運動公園等の整備（**充実**）

I 青少年の夢やあこがれとなる環境づくり

- 1 子どもたちの夢とあこがれの舞台となり、府民が誇りを持つことができる施設
- 2 新しいスポーツニーズに対応することができる施設（**新規項目**）
- 3 手軽にスポーツを楽しめるとともに、競技スポーツの拠点となる施設



「京都府立京都スタジアム」
・亀岡市（JR亀岡駅北徒歩3分）
・2020年春オープン（予定）
・専用球技場（収容人数：21,600人）

II スポーツに親しみやすい環境づくり

- 1 子ども、高齢者、女性、障害者等誰にでも優しい施設
- 2 「する」「みる」「ささえる」それぞれの立場に立った施設
- 3 安全・安心な施設
- 4 新しいスポーツニーズに対応した施設
- 5 京都を元気にするスポーツ施設（**充実項目**）



「京都アイスアリーナ」（仮称）
・宇治市（京都府立山城総合運動公園内）
・2019年オープン（予定）
・通年型アイススケート場（24時間営業）

マルチサポート機能を持つ京都トレーニングセンター

【各種プログラム】

- ・トレーニング指導
- ・動作分析
- ・メンタルサポート
- ・栄養相談
- ・メディカルサポート
- ・コンディショニング指導
- ・測定（筋力・基礎体力・体組成）



京都トレーニングセンター
・京丹波町（京都府立丹波自然運動公園内）
・2016年7月オープン